

令和5年度 第1回 まちづくり専門委員会議（議事要旨）

日時：令和5年9月21日 14時00分～16時20分

場所：三宮国際ビル 7階 701会議室

出席者 まちづくり専門委員：角野委員、車井委員、清水委員、長野委員、吉原委員
神戸市関係：都市局まち再生推進課、景観政策課、
東灘区地域協働課、灘区地域協働課、

傍聴者 0名

1. まちづくり支援事業の検証評価

まちづくり専門委員会議開催要綱第3条第6号及び7号に基づき、意見をうかがった。

■真野地区まちづくり推進会（長田区）

[意見]

- ・非常に長く歴史のある素晴らしい地区だと思う。いずれは自立に向けた具体的な動きも必要となってくる。
- ・19のプロジェクトは数が多いように思う。地域に必要なプロジェクトに絞るという考え方もある。

■住吉呉田まちづくりの会（東灘区）

[意見]

- ・若い世代はなかなか紙媒体を見ないので、まちづくりニュースの発行だけでなく、SNSの活用など情報発信の方法もある。
- ・わいわいフェスタもひとつのまちづくり活動の入口になるかもしれないが、もう少し生活に近い入口を考えても良い。例えば屋内のフリースペースが子育て世代に人気なので、そういう場所のニーズをわいわいフェスタの際に声掛けをしながら聞き、コミュニケーションを図りながら最終的にそういう場所を整備するなどが考えられる。さらにそういう場所が空き家などに作ることであればよりまちづくりにリンクさせられると思う。

■御影地区まちづくり協議会（東灘区）

[意見]

- ・14,000世帯と大きな協議会で、各部会と連携をとって、運営して頂きたい。例えば、協議会と部会で、同じ地域に複数の広報誌を発行しているが、地域の方が困惑しないように、ルールを作ったほうが良い。
- ・総会や役員会等、情報交換は大事だが、組織の維持が負担になっては意味がないので、できるだけ負担がかからない運営を目指し、情報交換ができる場を作ったほうが良い。

■南京町景観形成協議会（中央区）

[意見]

- ・後継者育成の場となっている「コネクト神戸」は、任意な会議なので、どれだけ持続性があるかわからない。後継者育成という観点では、別の手段も考えておいたほうが良い。
- ・コネクト神戸は仕組みが明確でない事で若者が参加しやすい環境にあると思う。こういった会議に参加している若者が次世代の種になると思うので、コネクト神戸に関しては、あまりルールを作らないほうが良いと思う。

■KOBE 三宮・ひと街創り協議会（中央区）

[意見]

- ・地域の賑わいづくりの活動として夜バル等が開催しているが、参加人数等のデータの蓄積はした方がよい。
- ・地上だけではなく、地下も含めて空間的な繋がりがとれたらより良いまちづくりになると思う。

■（仮）鶴甲地区まちづくり協議会（灘区）

[意見]

- ・神戸を代表する住宅団地で、「山、海へ行く」の象徴的な団地が今後どのように変わっていくかは注目が集まると思う。また、区域内に神戸大学や住環境整備公社が所有する賃貸住宅があるので、連携しながら進めて頂きたい。最後に山麓部での計画になるので、次世代に同じような課題を残さないように将来を見据えて慎重に計画して頂きたい。
- ・高齢化した団地では、高齢者の方が出てこないことが多いため、初動期の動き方が重要になってくる。この地域だけでなく、全国でも取り上げられるようなテーマなので、成功させて欲しい。

2. 住民主体のまちづくりにおける合意形成のあり方

まちづくり専門委員会議開催要綱第3条第8号に基づき意見をうかがった。

■御影山手まちづくり構想について（東灘区）

[意見]

- ・回収率が上がらないのであれば、QRコード等を使ってオンラインを検討してみてどうか。

3. 報告事項

■まちづくり協議会に係る変更の届出

神戸市地区計画及びまちづくり協定等に関する条例施行規則第4条に規定する、まちづくり協議会に係る変更の届出について報告を行った。

以上
